

ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型) -トリプルリターンズ-

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	2011年9月22日～2026年9月7日
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	2013年5月31日～2026年9月7日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSAストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSAストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSAストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSAストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSAストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行いません。	

◇SUZ0383420250908◇

運用報告書(全体版)

日本円・コース (毎月分配型)
豪ドル・コース (毎月分配型)
ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)
米ドル・コース (毎月分配型)

第162期 (決算日 2025年4月7日)
第163期 (決算日 2025年5月7日)
第164期 (決算日 2025年6月9日)
第165期 (決算日 2025年7月7日)
第166期 (決算日 2025年8月7日)
第167期 (決算日 2025年9月8日)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

第142期 (決算日 2025年4月7日)
第143期 (決算日 2025年5月7日)
第144期 (決算日 2025年6月9日)
第145期 (決算日 2025年7月7日)
第146期 (決算日 2025年8月7日)
第147期 (決算日 2025年9月8日)

(作成対象期間 2025年3月8日～2025年9月8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願ひ申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <3834>
お問い合わせ先 (コールセンター) <3835>
TEL 0120-106212 <3836>
(営業日の9:00～17:00) <3837>
<https://www.daiwa-am.co.jp/> <5763>

日本円・コース（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指數)	期騰落率			
138期末(2023年4月7日)	円 6,178	円 35	% △ 3.9	41,240	% 1.5	—	% 99.8	百万円 297
139期末(2023年5月8日)	6,067	35	△ 1.2	41,574	0.8	—	97.9	291
140期末(2023年6月7日)	6,050	35	0.3	43,117	3.7	—	99.1	292
141期末(2023年7月7日)	6,110	35	1.6	44,441	3.1	—	99.2	297
142期末(2023年8月7日)	6,395	35	5.2	45,137	1.6	—	99.1	306
143期末(2023年9月7日)	6,295	35	△ 1.0	45,067	△ 0.2	—	99.7	301
144期末(2023年10月10日)	5,987	35	△ 4.3	43,800	△ 2.8	—	97.5	287
145期末(2023年11月7日)	5,986	35	0.6	44,128	0.7	—	97.6	283
146期末(2023年12月7日)	5,914	35	△ 0.6	46,045	4.3	—	98.9	261
147期末(2024年1月9日)	6,150	35	4.6	48,254	4.8	—	97.5	270
148期末(2024年2月7日)	6,168	35	0.9	50,214	4.1	—	98.2	263
149期末(2024年3月7日)	6,263	35	2.1	51,799	3.2	—	97.5	264
150期末(2024年4月8日)	6,342	35	1.8	52,852	2.0	0.0	98.2	268
151期末(2024年5月7日)	6,071	35	△ 3.7	52,638	△ 0.4	0.0	99.0	255
152期末(2024年6月7日)	6,002	35	△ 0.6	54,448	3.4	0.0	97.5	252
153期末(2024年7月8日)	5,889	35	△ 1.3	56,674	4.1	0.0	97.9	248
154期末(2024年8月7日)	5,956	35	1.7	53,371	△ 5.8	0.0	97.4	247
155期末(2024年9月9日)	6,022	25	1.5	55,147	3.3	0.0	98.1	249
156期末(2024年10月7日)	6,209	25	3.5	58,688	6.4	0.0	99.3	255
157期末(2024年11月7日)	6,274	25	1.4	60,531	3.1	0.0	99.8	258
158期末(2024年12月9日)	6,111	25	△ 2.2	62,245	2.8	0.0	98.0	233
159期末(2025年1月7日)	5,839	25	△ 4.0	61,115	△ 1.8	0.0	98.4	222
160期末(2025年2月7日)	5,813	25	△ 0.0	62,252	1.9	0.0	99.3	221
161期末(2025年3月7日)	5,710	25	△ 1.3	58,775	△ 5.6	0.0	97.9	215
162期末(2025年4月7日)	5,151	25	△ 9.4	52,018	△ 11.5	0.0	98.9	195
163期末(2025年5月7日)	5,386	25	5.0	57,509	10.6	0.0	99.5	204
164期末(2025年6月9日)	5,464	25	1.9	61,614	7.1	0.0	99.7	208
165期末(2025年7月7日)	5,634	25	3.6	64,525	4.7	0.0	98.2	213
166期末(2025年8月7日)	5,514	25	△ 1.7	65,230	1.1	0.0	98.0	205
167期末(2025年9月8日)	5,659	25	3.1	66,704	2.3	0.0	98.7	210

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指標の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指標は直近で知り得るデータを使用しております。

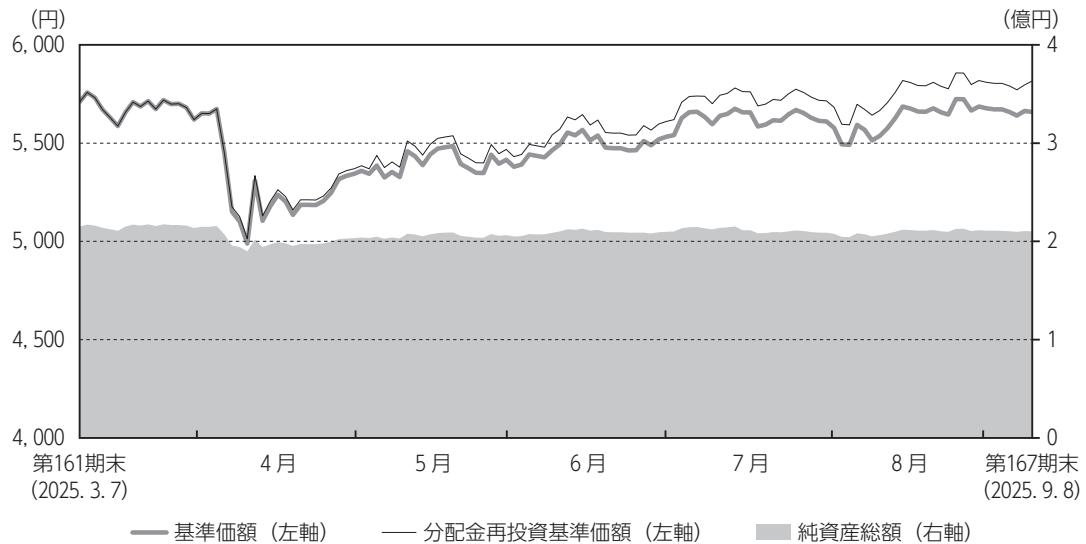
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第162期首：5,710円

第167期末：5,659円（既払分配金150円）

騰 落 率：1.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」が上昇したことにより、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。「クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」については、オプション取引戦略やヘッジコストがマイナス要因となったものの、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラスト－クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数（税引後 配当込み、米ドルベース）		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第162期	(期首) 2025年3月7日	円 5,710	% —	58,775	% —	% 0.0	% 97.9
	3月末	5,620	△ 1.6	57,201	△ 2.7	0.0	98.5
	(期末) 2025年4月7日	5,176	△ 9.4	52,018	△ 11.5	0.0	98.9
第163期	(期首) 2025年4月7日	5,151	% —	52,018	% —	0.0	98.9
	4月末	5,344	3.7	57,029	9.6	0.0	98.9
	(期末) 2025年5月7日	5,411	5.0	57,509	10.6	0.0	99.5
第164期	(期首) 2025年5月7日	5,386	% —	57,509	% —	0.0	99.5
	5月末	5,416	0.6	60,689	5.5	0.0	99.4
	(期末) 2025年6月9日	5,489	1.9	61,614	7.1	0.0	99.7
第165期	(期首) 2025年6月9日	5,464	% —	61,614	% —	0.0	99.7
	6月末	5,532	1.2	63,420	2.9	0.0	97.5
	(期末) 2025年7月7日	5,659	3.6	64,525	4.7	0.0	98.2
第166期	(期首) 2025年7月7日	5,634	% —	64,525	% —	0.0	98.2
	7月末	5,578	△ 1.0	65,405	1.4	0.0	97.5
	(期末) 2025年8月7日	5,539	△ 1.7	65,230	1.1	0.0	98.0
第167期	(期首) 2025年8月7日	5,514	% —	65,230	% —	0.0	98.0
	8月末	5,677	3.0	66,888	2.5	0.0	98.3
	(期末) 2025年9月8日	5,684	3.1	66,704	2.3	0.0	98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.8～2025.9.8)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当造成期首より、トランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。さらに、2025年4月初旬に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価は下落しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇基調で当造成期末を迎えるました。

■短期金利市況

日銀は政策金利である「無担保コールレート（オーバーナイト物）」を0.50%程度で据え置きました。一方、米国では、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標は4.25～4.50%に据え置かれました。

前造成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定期における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 3. 8～2025. 9. 8)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

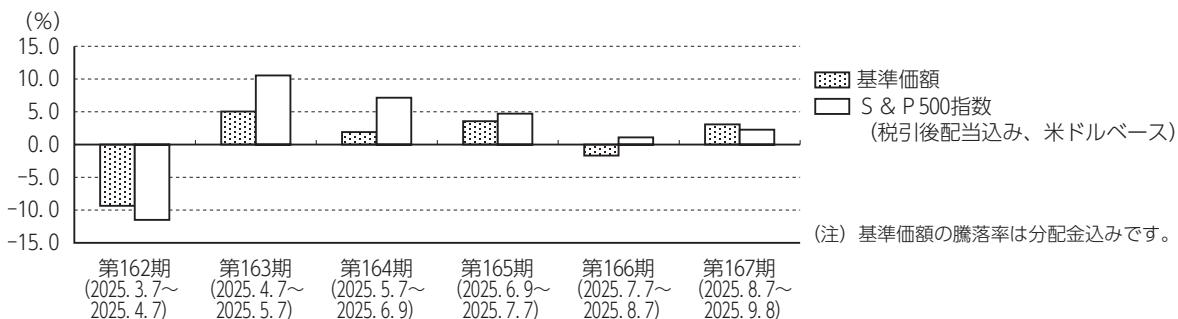
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当期成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2025年3月8日 ～2025年4月7日	2025年4月8日 ～2025年5月7日	2025年5月8日 ～2025年6月9日	2025年6月10日 ～2025年7月7日	2025年7月8日 ～2025年8月7日	2025年8月8日 ～2025年9月8日
当期分配金（税込み）（円）	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率（%）	0.48	0.46	0.46	0.44	0.45	0.44
当期の収益（円）	25	25	25	25	24	25
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	0	—
翌期繰越分配対象額（円）	365	370	375	377	376	382

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

（注4）投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 26.36円	✓ 29.65円	✓ 30.18円	✓ 26.91円	✓ 24.15円	✓ 30.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	253.24	253.46	254.00	254.15	254.34	254.49
(d) 分配準備積立金	111.08	112.24	116.40	121.45	123.17	122.17
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	390.69	395.35	400.60	402.51	401.67	407.34
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	365.69	370.35	375.60	377.51	376.67	382.34

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とならない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第162期～第167期 (2025. 3. 8～2025. 9. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0. 682%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,514円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0. 446)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	38	0. 685	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

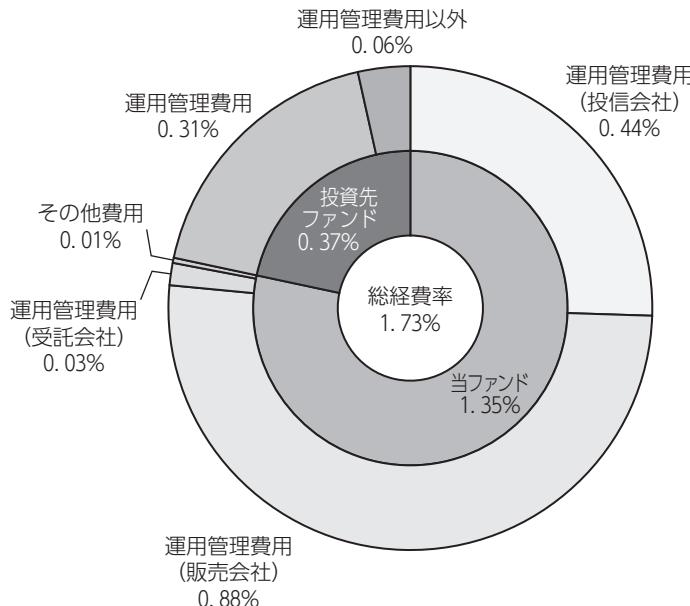
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.73%
①当 ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先 ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先 ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) 投資先 ファンドとは、当 ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先 ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

決算期		第162期～第167期			
外国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
146,64061	10,211	162,31692	11,200		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

当成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

区分	決算期	第162期～第167期					
		買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	—	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,374,428	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第167期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 2,924,68626	千円 207,722	% 98.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第161期末	第167期末		
		口数	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月8日現在

項目	第167期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 207,722	% 98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	3,825	1.8
投資信託財産総額	211,550	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)、(2025年5月7日)、(2025年6月9日)、(2025年7月7日)、(2025年8月7日)、(2025年9月8日)現在

項目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
(A) 資産	197,052,739円	206,161,791円	209,942,199円	214,819,450円	206,473,825円	211,550,002円
コール・ローン等	3,325,047	2,328,716	1,908,808	5,376,824	5,344,166	3,825,200
投資信託受益証券（評価額）	193,725,809	203,831,192	208,031,507	209,440,741	201,127,774	207,722,916
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,883	1,883	1,884	1,885	1,885	1,886
(B) 負債	1,198,034	1,259,713	1,210,290	1,471,687	1,178,144	1,186,088
未払収益分配金	950,602	951,148	955,007	946,642	930,827	929,305
未払解約金	530	85,136	—	301,364	—	—
未払信託報酬	245,418	220,615	250,949	218,022	240,201	248,167
その他未払費用	1,484	2,814	4,334	5,659	7,116	8,616
(C) 純資産総額 (A - B)	195,854,705	204,902,078	208,731,909	213,347,763	205,295,681	210,363,914
元本	380,241,176	380,459,532	382,003,036	378,656,941	372,331,050	371,722,122
次期繰越損益金	△ 184,386,471	△ 175,557,454	△ 173,271,127	△ 165,309,178	△ 167,035,369	△ 161,358,208
(D) 受益権総口数	380,241,176口	380,459,532口	382,003,036口	378,656,941口	372,331,050口	371,722,122口
1万口当り基準価額 (C/D)	5,151円	5,386円	5,464円	5,634円	5,514円	5,659円

* 当作成期首における元本額は376,631,508円、当作成期間（第162期～第167期）中における追加設定元本額は7,388,136円、同解約元本額は12,297,522円です。

* 第167期末の計算口数当りの純資産額は5,659円です。

* 第167期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は161,358,208円です。

■損益の状況

第162期	自 2025年3月8日	至 2025年4月7日	第164期	自 2025年5月8日	至 2025年6月9日	第166期	自 2025年7月8日	至 2025年8月7日
第163期	自 2025年4月8日	至 2025年5月7日	第165期	自 2025年6月10日	至 2025年7月7日	第167期	自 2025年8月8日	至 2025年9月8日

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(A) 配当等収益	1,249,367円	1,153,396円	1,226,940円	1,049,231円	1,140,951円	1,185,104円
受取配当金	1,247,735	1,152,461	1,226,298	1,048,137	1,139,269	1,183,312
受取利息	1,632	935	642	1,094	1,682	1,792
(B) 有価証券売買損益	△ 21,263,589	8,953,080	2,973,832	6,560,970	△ 4,455,725	5,397,818
売買益	36	8,954,697	2,974,018	6,587,455	2,588	5,408,720
売買損	△ 21,263,625	△ 1,617	△ 186	△ 26,485	△ 4,458,313	△ 10,902
(C) 信託報酬等	△ 246,902	△ 221,945	△ 252,469	△ 219,347	△ 241,658	△ 249,667
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 20,261,124	9,884,531	3,948,303	7,390,854	△ 3,556,432	6,333,255
(E) 前期繰越損益金	△ 66,110,827	△ 87,214,281	△ 78,272,679	△ 74,530,540	△ 66,847,051	△ 71,130,040
(F) 追加信託差損益金	△ 97,063,918	△ 97,276,556	△ 97,991,744	△ 97,222,850	△ 95,701,059	△ 95,632,118
(配当等相当額)	(9,629,602)	(9,643,333)	(9,703,222)	(9,623,747)	(9,470,049)	(9,460,159)
(売買損益相当額)	(△ 106,693,520)	(△ 106,919,889)	(△ 107,694,966)	(△ 106,846,597)	(△ 105,171,108)	(△ 105,092,277)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 183,435,869	△ 174,606,306	△ 172,316,120	△ 164,362,536	△ 166,104,542	△ 160,428,903
(H) 収益分配金	△ 950,602	△ 951,148	△ 955,007	△ 946,642	△ 930,827	△ 929,305
次期繰越損益金 (G + H)	△ 184,386,471	△ 175,557,454	△ 173,271,127	△ 165,309,178	△ 167,035,369	△ 161,358,208
追加信託差損益金	△ 97,063,918	△ 97,276,556	△ 97,991,744	△ 97,222,850	△ 95,701,059	△ 95,632,118
(配当等相当額)	(9,629,602)	(9,643,333)	(9,703,222)	(9,623,747)	(9,470,049)	(9,460,159)
(売買損益相当額)	(△ 106,693,520)	(△ 106,919,889)	(△ 107,694,966)	(△ 106,846,597)	(△ 105,171,108)	(△ 105,092,277)
分配準備積立金	4,275,736	4,447,358	4,645,078	4,671,212	4,554,655	4,752,472
繰越損益金	△ 91,598,289	△ 82,728,256	△ 79,924,461	△ 72,757,540	△ 75,888,965	△ 70,478,562

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,002,465円	1,128,072円	1,153,194円	1,018,983円	899,293円	1,140,164円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	9,629,602	9,643,333	9,703,222	9,623,747	9,470,049	9,460,159
(d) 分配準備積立金	4,223,873	4,270,434	4,446,891	4,598,871	4,586,189	4,541,613
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	14,855,940	15,041,839	15,303,307	15,241,601	14,955,531	15,141,936
(f) 分配金	950,602	951,148	955,007	946,642	930,827	929,305
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	13,905,338	14,090,691	14,348,300	14,294,959	14,024,704	14,212,631
(h) 受益権総口数	380,241,176□	380,459,532□	382,003,036□	378,656,941□	372,331,050□	371,722,122□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金(税込み)	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遗漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

豪ドル・コース（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
138期末(2023年4月7日)	円 4,144	円 20	% △ 7.1	41,240	% 1.5	円 87.90	% △ 4.1	% —	% 99.0	百万円 774
139期末(2023年5月8日)	4,228	20	2.5	41,574	0.8	91.14	3.7	—	99.6	790
140期末(2023年6月7日)	4,335	20	3.0	43,117	3.7	93.21	2.3	—	99.0	785
141期末(2023年7月7日)	4,504	20	4.4	44,441	3.1	95.43	2.4	—	97.9	792
142期末(2023年8月7日)	4,636	20	3.4	45,137	1.6	93.21	△ 2.3	—	98.9	812
143期末(2023年9月7日)	4,626	20	0.2	45,067	△ 0.2	94.31	1.2	—	95.8	787
144期末(2023年10月10日)	4,459	20	△ 3.2	43,800	△ 2.8	95.42	1.2	—	98.0	751
145期末(2023年11月7日)	4,599	20	3.6	44,128	0.7	97.28	1.9	—	99.6	767
146期末(2023年12月7日)	4,540	20	△ 0.8	46,045	4.3	96.46	△ 0.8	—	98.9	753
147期末(2024年1月9日)	4,762	20	5.3	48,254	4.8	96.81	0.4	—	98.0	761
148期末(2024年2月7日)	4,770	20	0.6	50,214	4.1	96.54	△ 0.3	—	99.4	755
149期末(2024年3月7日)	4,948	20	4.2	51,799	3.2	97.92	1.4	—	99.3	772
150期末(2024年4月8日)	5,114	20	3.8	52,852	2.0	99.60	1.7	0.0	98.0	793
151期末(2024年5月7日)	4,975	20	△ 2.3	52,638	△ 0.4	102.30	2.7	0.0	98.0	753
152期末(2024年6月7日)	5,102	20	3.0	54,448	3.4	103.91	1.6	0.0	98.6	772
153期末(2024年7月8日)	5,262	20	3.5	56,674	4.1	108.39	4.3	0.0	98.0	791
154期末(2024年8月7日)	4,641	20	△ 11.4	53,371	△ 5.8	96.12	△ 11.3	0.0	99.8	688
155期末(2024年9月9日)	4,796	20	3.8	55,147	3.3	95.28	△ 0.9	0.0	99.2	706
156期末(2024年10月7日)	5,244	20	9.8	58,688	6.4	101.00	6.0	0.0	98.1	771
157期末(2024年11月7日)	5,351	20	2.4	60,531	3.1	101.56	0.6	0.0	99.3	780
158期末(2024年12月9日)	4,949	20	△ 7.1	62,245	2.8	95.81	△ 5.7	0.0	98.0	704
159期末(2025年1月7日)	4,874	20	△ 1.1	61,115	△ 1.8	98.86	3.2	0.0	98.7	692
160期末(2025年2月7日)	4,722	20	△ 2.7	62,252	1.9	95.06	△ 3.8	0.0	98.0	650
161期末(2025年3月7日)	4,597	20	△ 2.2	58,775	△ 5.6	93.67	△ 1.5	0.0	99.6	626
162期末(2025年4月7日)	3,880	20	△ 15.2	52,018	△ 11.5	87.37	△ 6.7	0.0	97.7	529
163期末(2025年5月7日)	4,302	20	11.4	57,509	10.6	92.97	6.4	0.0	98.5	586
164期末(2025年6月9日)	4,420	20	3.2	61,614	7.1	94.21	1.3	0.0	99.0	603
165期末(2025年7月7日)	4,627	20	5.1	64,525	4.7	94.43	0.2	0.0	99.5	614
166期末(2025年8月7日)	4,562	20	△ 1.0	65,230	1.1	95.96	1.6	0.0	98.4	604
167期末(2025年9月8日)	4,733	20	4.2	66,704	2.3	97.31	1.4	0.0	99.2	625

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指標の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指標は直近で知り得るデータを使用しております。

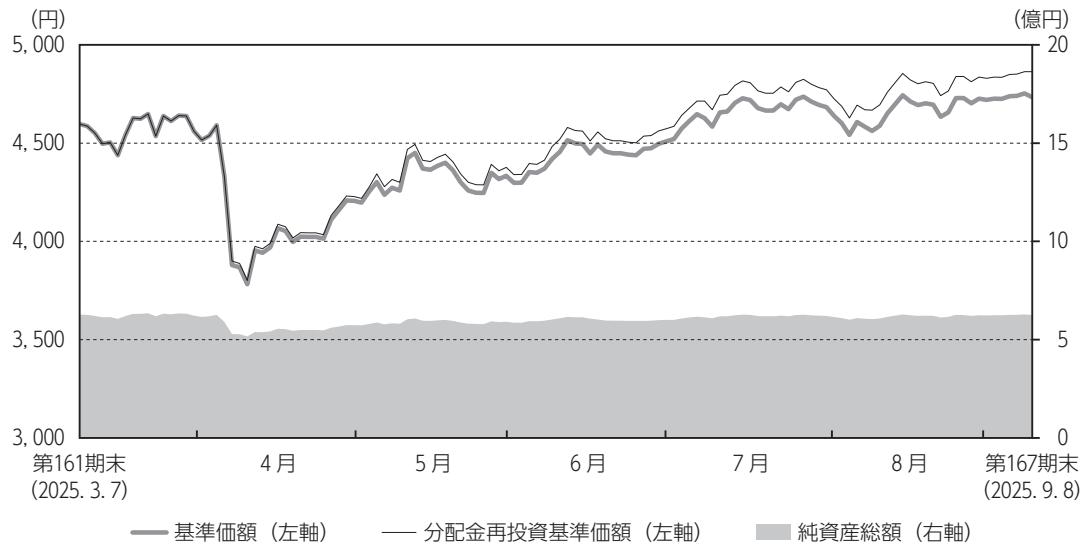
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを持みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当算成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第162期首：4,597円

第167期末：4,733円（既払分配金120円）

騰 落 率：5.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。「クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」については、オプション取引戦略がマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇や豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト－クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投 資 信 託 受 益 証 券 組入比率
		騰落率	(参考指標)	騰落率	(参考指標)	騰落率	(参考指標)		
第162期	(期首) 2025年3月7日	円 4,597	% —	% 58,775	% —	円 93.67	% —	% 0.0	% 99.6
	3月末	4,560	△ 0.8	57,201	△ 2.7	93.97	0.3	0.0	99.6
	(期末) 2025年4月7日	3,900	△ 15.2	52,018	△ 11.5	87.37	△ 6.7	0.0	97.7
第163期	(期首) 2025年4月7日	3,880	—	52,018	—	87.37	—	0.0	97.7
	4月末	4,206	8.4	57,029	9.6	90.96	4.1	0.0	97.9
	(期末) 2025年5月7日	4,322	11.4	57,509	10.6	92.97	6.4	0.0	98.5
第164期	(期首) 2025年5月7日	4,302	—	57,509	—	92.97	—	0.0	98.5
	5月末	4,334	0.7	60,689	5.5	92.58	△ 0.4	0.0	98.5
	(期末) 2025年6月9日	4,440	3.2	61,614	7.1	94.21	1.3	0.0	99.0
第165期	(期首) 2025年6月9日	4,420	—	61,614	—	94.21	—	0.0	99.0
	6月末	4,509	2.0	63,420	2.9	94.50	0.3	0.0	98.7
	(期末) 2025年7月7日	4,647	5.1	64,525	4.7	94.43	0.2	0.0	99.5
第166期	(期首) 2025年7月7日	4,627	—	64,525	—	94.43	—	0.0	99.5
	7月末	4,638	0.2	65,405	1.4	96.22	1.9	0.0	97.9
	(期末) 2025年8月7日	4,582	△ 1.0	65,230	1.1	95.96	1.6	0.0	98.4
第167期	(期首) 2025年8月7日	4,562	—	65,230	—	95.96	—	0.0	98.4
	8月末	4,720	3.5	66,888	2.5	95.98	0.0	0.0	98.8
	(期末) 2025年9月8日	4,753	4.2	66,704	2.3	97.31	1.4	0.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 3. 8 ~ 2025. 9. 8)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、トランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。さらに、2025年4月初旬に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価は下落しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇基調で当作成期末を迎きました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、米国の関税政策や中国景気への懸念などが重なり、豪ドルは円に対して下落（円高）しました。しかし、米国と各国との交渉の進展により、関税政策による過度な景気減速懸念が後退したことで投資家のリスク選好が回復したことなどから、豪ドルは円に対して上昇しました。2025年5月には、R B A（オーストラリア準備銀行）の利下げや世界的な景気減速懸念で下押しされましたが、米国経済指標の改善などを受けて持ち直しました。6月以降は、リスク選好の高まりや株価上昇などが支援材料となり、豪ドルは円に対して底堅く推移しました。

■短期金利市況

オーストラリアでは、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を4.10%から3.60%に引き下げました。一方、米国では、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標は4.25～4.50%に据え置かれました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S&P500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキー・モデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.8～2025.9.8)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S&P500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキー・モデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

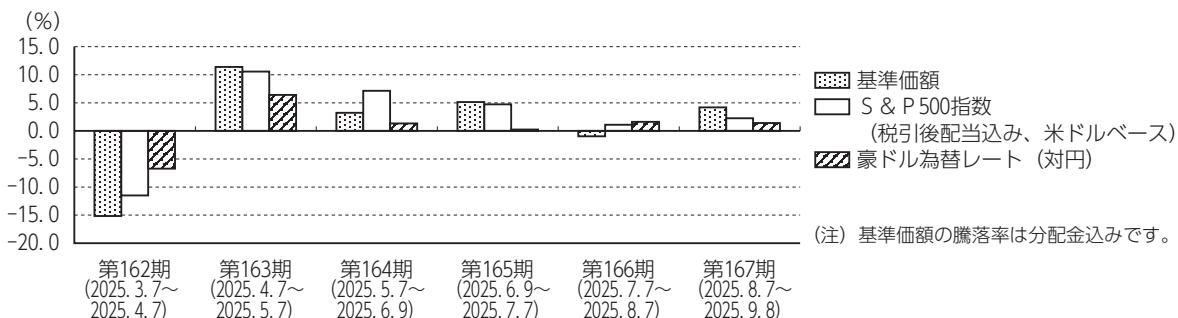
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2025年3月8日～2025年4月7日	2025年4月8日～2025年5月7日	2025年5月8日～2025年6月9日	2025年6月10日～2025年7月7日	2025年7月8日～2025年8月7日	2025年8月8日～2025年9月8日
当期分配金（税込み）(円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	0.51	0.46	0.45	0.43	0.44	0.42
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	899	917	930	944	955	972

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 34.65円	✓ 37.66円	✓ 32.56円	✓ 34.71円	✓ 30.43円	✓ 37.32円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	210.39	210.97	211.45	211.91	212.42	212.89
(d) 分配準備積立金	674.85	688.93	706.11	718.22	732.43	742.40
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	919.90	937.56	950.13	964.85	975.29	992.61
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	899.90	917.56	930.13	944.85	955.29	972.61

(注) ✓ を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とならない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第162期～第167期 (2025. 3. 8～2025. 9. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0. 681%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,465円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0. 445)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0. 685	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

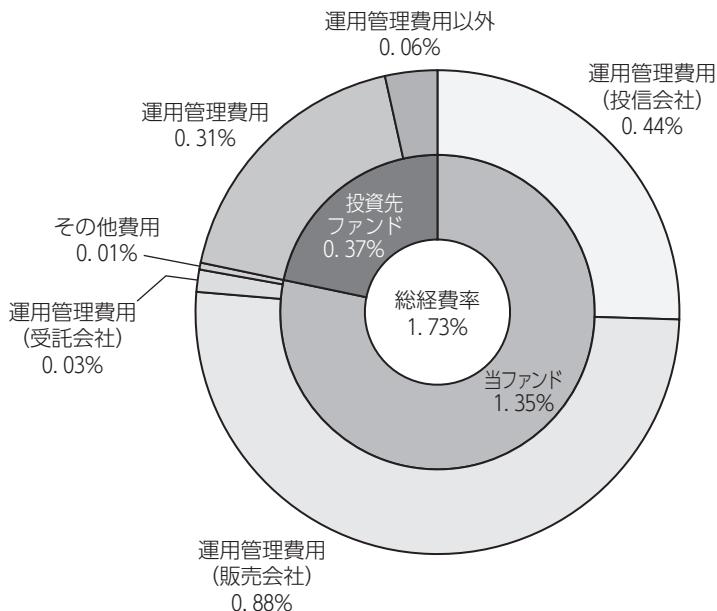
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.73%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

決 算 期		第 162 期～第 167 期			
外 国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
		402,97322	29,816	543,82409	41,300

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

当成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

区 分	第 162 期～第 167 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,374,428	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 167 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	千口 7,886,32724	千円 620,582	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第161期末	第 167 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・ マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月8日現在

項 目	第 167 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 620,582	% 98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	8,240	1.3
投資信託財産総額	628,825	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)、(2025年5月7日)、(2025年6月9日)、(2025年7月7日)、(2025年8月7日)、(2025年9月8日)現在

項目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
(A) 資産	533,009,457円	590,265,755円	606,777,836円	617,788,839円	607,672,232円	628,825,567円
コール・ローン等	16,031,827	12,425,779	9,446,810	6,602,333	13,067,412	8,240,752
投資信託受益証券（評価額）	516,975,794	577,838,140	597,329,189	611,184,668	594,602,982	620,582,976
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,836	1,836	1,837	1,838	1,838	1,839
(B) 負債	3,819,274	3,368,788	3,678,014	3,298,435	3,377,790	3,400,856
未払収益分配金	2,727,467	2,728,475	2,729,229	2,656,178	2,649,038	2,642,752
未払解約金	376,532	16,647	216,984	910	—	—
未払信託報酬	710,938	615,572	719,321	625,056	708,144	733,023
その他未払費用	4,337	8,094	12,480	16,291	20,608	25,081
(C) 純資産額 (A - B)	529,190,183	586,896,967	603,099,822	614,490,404	604,294,442	625,424,711
元本	1,363,733,536	1,364,237,600	1,364,614,749	1,328,089,420	1,324,519,108	1,321,376,325
次期繰越損益金	△ 834,543,353	△ 777,340,633	△ 761,514,927	△ 713,599,016	△ 720,224,666	△ 695,951,614
(D) 受益権総口数	1,363,733,536口	1,364,237,600口	1,364,614,749口	1,328,089,420口	1,324,519,108口	1,321,376,325口
1万口当り基準価額 (C/D)	3,880円	4,302円	4,420円	4,627円	4,562円	4,733円

* 当作成期首における元本額は1,363,772,335円、当作成期間（第162期末～第167期末）中における追加設定元本額は5,487,756円、同解約元本額は47,883,766円です。

* 第167期末の計算口数当りの純資産額は4,733円です。

* 第167期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は695,951,614円です。

■損益の状況

第162期	自 2025年3月8日	至 2025年4月7日	第164期	自 2025年5月8日	至 2025年6月9日	第166期	自 2025年7月8日	至 2025年8月7日
第163期	自 2025年4月8日	至 2025年5月7日	第165期	自 2025年6月10日	至 2025年7月7日	第167期	自 2025年8月8日	至 2025年9月8日

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(A) 配当等収益	5,440,971円	5,190,872円	4,615,726円	4,707,099円	4,743,281円	5,076,302円
受取配当金	5,439,467	5,185,807	4,611,545	4,703,353	4,741,684	5,072,322
受取利息	1,504	5,065	4,181	3,746	1,597	3,980
(B) 有価証券売買損益	△ 99,718,091	55,667,045	14,878,018	26,110,157	△ 9,926,590	20,867,187
売買益	7,887	55,675,298	14,878,010	26,122,444	2,055	20,896,436
売買損	△ 99,725,978	△ 8,253	8	△ 12,287	△ 9,928,645	△ 29,249
(C) 信託報酬等	△ 715,275	△ 619,329	△ 723,707	△ 628,867	△ 712,461	△ 737,496
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 94,992,395	60,238,588	18,770,037	30,188,389	△ 5,895,770	25,205,993
(E) 前期繰越損益金	△ 340,107,295	△ 437,622,766	△ 379,962,808	△ 353,954,324	△ 325,318,794	△ 332,860,139
(F) 追加信託差損益金	△ 396,716,196	△ 397,227,980	△ 397,592,927	△ 387,176,903	△ 386,361,064	△ 385,654,716
(配当等相当額)	(28,692,628)	(28,782,008)	(28,854,855)	(28,143,809)	(28,135,628)	(28,131,283)
(売買損益相当額)	(△ 425,408,824)	(△ 426,009,988)	(△ 426,447,782)	(△ 415,320,712)	(△ 414,496,692)	(△ 413,785,999)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 831,815,886	△ 774,612,158	△ 758,785,698	△ 710,942,838	△ 717,575,628	△ 693,308,862
(H) 収益分配金	△ 2,727,467	△ 2,728,475	△ 2,729,229	△ 2,656,178	△ 2,649,038	△ 2,642,752
次期繰越損益金 (G + H)	△ 834,543,353	△ 777,340,633	△ 761,514,927	△ 713,599,016	△ 720,224,666	△ 695,951,614
追加信託差損益金	△ 396,716,196	△ 397,227,980	△ 397,592,927	△ 387,176,903	△ 386,361,064	△ 385,654,716
(配当等相当額)	(28,692,628)	(28,782,008)	(28,854,855)	(28,143,809)	(28,135,628)	(28,131,283)
(売買損益相当額)	(△ 425,408,824)	(△ 426,009,988)	(△ 426,447,782)	(△ 415,320,712)	(△ 414,496,692)	(△ 413,785,999)
分配準備積立金	94,030,499	96,396,170	98,073,294	97,341,998	98,394,759	100,388,243
繰越損益金	△ 531,857,656	△ 476,508,823	△ 461,995,294	△ 423,764,111	△ 432,258,361	△ 410,685,141

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,725,696円	5,138,043円	4,444,352円	4,611,071円	4,030,820円	4,931,974円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	28,692,628	28,782,008	28,854,855	28,143,809	28,135,628	28,131,283
(d) 分配準備積立金	92,032,270	93,986,602	96,358,171	95,387,105	97,012,977	98,099,021
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	125,450,594	127,906,653	129,657,378	128,141,985	129,179,425	131,162,278
(f) 分配金	2,727,467	2,728,475	2,729,229	2,656,178	2,649,038	2,642,752
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	122,723,127	125,178,178	126,928,149	125,485,807	126,530,387	128,519,526
(h) 受益権総口数	1,363,733,536□	1,364,237,600□	1,364,614,749□	1,328,089,420□	1,324,519,108□	1,321,376,325□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金(税込み)	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

● 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遗漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配額)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
138期末(2023年4月7日)	円 2,041	円 20	% △ 3.5	41,240	% 1.5	円 26,0461	% △ 1.3	—	% 97.3	百万円 13,636
139期末(2023年5月8日)	2,088	20	3.3	41,574	0.8	27,2817	4.7	—	99.1	13,867
140期末(2023年6月7日)	2,199	20	6.3	43,117	3.7	28,3804	4.0	—	98.6	14,118
141期末(2023年7月7日)	2,307	20	5.8	44,441	3.1	29,2985	3.2	—	98.8	14,587
142期末(2023年8月7日)	2,415	20	5.5	45,137	1.6	29,0567	△ 0.8	—	99.0	15,045
143期末(2023年9月7日)	2,429	20	1.4	45,067	△ 0.2	29,6982	2.2	—	98.4	14,998
144期末(2023年10月10日)	2,260	20	△ 6.1	43,800	△ 2.8	28,9156	△ 2.6	—	97.5	13,879
145期末(2023年11月7日)	2,408	20	7.4	44,128	0.7	30,7014	6.2	—	97.7	14,654
146期末(2023年12月7日)	2,348	20	△ 1.7	46,045	4.3	29,9971	△ 2.3	—	97.5	14,057
147期末(2024年1月9日)	2,416	20	3.7	48,254	4.8	29,5245	△ 1.6	—	97.6	14,228
148期末(2024年2月7日)	2,460	20	2.6	50,214	4.1	29,8101	1.0	—	97.6	14,253
149期末(2024年3月7日)	2,539	20	4.0	51,799	3.2	30,1110	1.0	—	98.5	14,370
150期末(2024年4月8日)	2,564	20	1.8	52,852	2.0	29,9516	△ 0.5	0.0	98.8	14,262
151期末(2024年5月7日)	2,473	20	△ 2.8	52,638	△ 0.4	30,3437	1.3	0.0	97.6	13,647
152期末(2024年6月7日)	2,420	20	△ 1.3	54,448	3.4	29,6287	△ 2.4	0.0	99.2	13,254
153期末(2024年7月8日)	2,361	20	△ 1.6	56,674	4.1	29,4343	△ 0.7	0.0	98.9	12,793
154期末(2024年8月7日)	2,089	20	△ 10.7	53,371	△ 5.8	25,9660	△ 11.8	0.0	99.5	11,054
155期末(2024年9月9日)	2,116	20	2.2	55,147	3.3	25,4885	△ 1.8	0.0	98.8	11,119
156期末(2024年10月7日)	2,327	20	10.9	58,688	6.4	27,2081	6.7	0.0	97.7	12,120
157期末(2024年11月7日)	2,345	20	1.6	60,531	3.1	27,2201	0.0	0.0	99.2	12,134
158期末(2024年12月9日)	2,104	20	△ 9.4	62,245	2.8	24,6131	△ 9.6	0.0	97.7	10,645
159期末(2025年1月7日)	2,094	20	0.5	61,115	△ 1.8	25,8617	5.1	0.0	97.6	10,372
160期末(2025年2月7日)	2,131	20	2.7	62,252	1.9	26,2223	1.4	0.0	97.5	10,420
161期末(2025年3月7日)	2,053	20	△ 2.7	58,775	△ 5.6	25,6789	△ 2.1	0.0	99.7	9,927
162期末(2025年4月7日)	1,802	20	△ 11.3	52,018	△ 11.5	24,9435	△ 2.9	0.0	98.7	8,679
163期末(2025年5月7日)	1,926	20	8.0	57,509	10.6	25,0267	0.3	0.0	97.6	9,193
164期末(2025年6月9日)	1,986	20	4.2	61,614	7.1	26,0504	4.1	0.0	99.3	9,430
165期末(2025年7月7日)	2,126	20	8.1	64,525	4.7	26,6274	2.2	0.0	98.6	10,032
166期末(2025年8月7日)	2,098	20	△ 0.4	65,230	1.1	26,9938	1.4	0.0	97.6	9,817
167期末(2025年9月8日)	2,187	20	5.2	66,704	2.3	27,4194	1.6	0.0	97.5	10,108

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指標の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

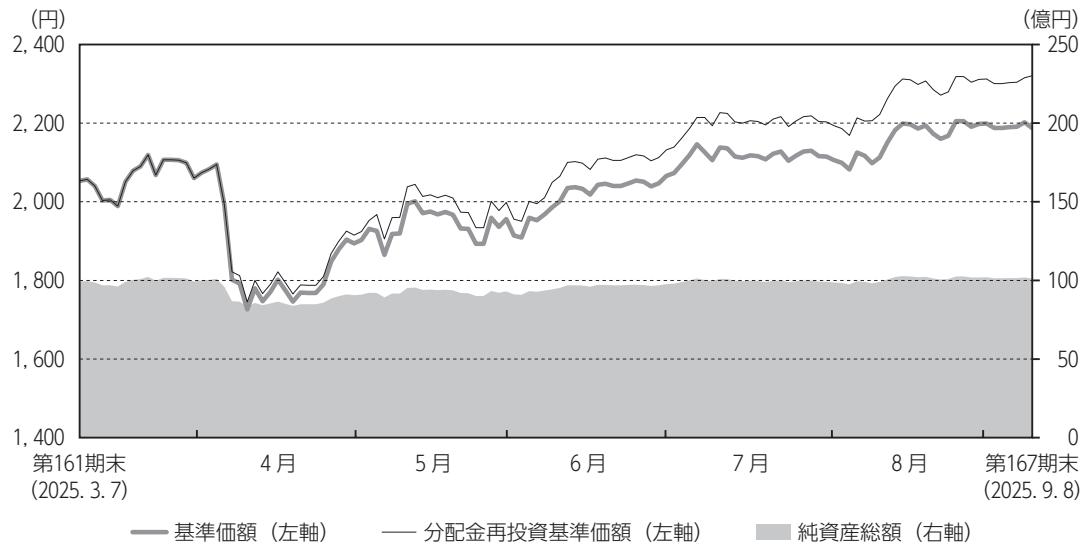
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第162期首：2,053円

第167期末：2,187円（既払分配金120円）

騰 落 率：13.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」については、オプション取引戦略がマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇やブラジル・レアルが対円で上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数（税引後 配当込み、米ドルベース）		ブラジル・レアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投 資 信 託 受 益 証 券 組入比率
		騰落率	(参考指標)	騰落率	(参考指標)	騰落率	(参考指標)		
第162期	(期首) 2025年3月7日	円 2,053	% —	% 58,775	—	円 25.6789	% —	% 0.0	% 99.7
	3月末	2,060	0.3	57,201	△ 2.7	25.9390	1.0	0.0	97.8
	(期末) 2025年4月7日	1,822	△ 11.3	52,018	△ 11.5	24.9435	△ 2.9	0.0	98.7
第163期	(期首) 2025年4月7日	1,802	—	52,018	—	24.9435	—	0.0	98.7
	4月末	1,894	5.1	57,029	9.6	25.2928	1.4	0.0	99.5
	(期末) 2025年5月7日	1,946	8.0	57,509	10.6	25.0267	0.3	0.0	97.6
第164期	(期首) 2025年5月7日	1,926	—	57,509	—	25.0267	—	0.0	97.6
	5月末	1,956	1.6	60,689	5.5	25.3706	1.4	0.0	98.0
	(期末) 2025年6月9日	2,006	4.2	61,614	7.1	26.0504	4.1	0.0	99.3
第165期	(期首) 2025年6月9日	1,986	—	61,614	—	26.0504	—	0.0	99.3
	6月末	2,066	4.0	63,420	2.9	26.3783	1.3	0.0	97.5
	(期末) 2025年7月7日	2,146	8.1	64,525	4.7	26.6274	2.2	0.0	98.6
第166期	(期首) 2025年7月7日	2,126	—	64,525	—	26.6274	—	0.0	98.6
	7月末	2,106	△ 0.9	65,405	1.4	26.8016	0.7	0.0	99.4
	(期末) 2025年8月7日	2,118	△ 0.4	65,230	1.1	26.9938	1.4	0.0	97.6
第167期	(期首) 2025年8月7日	2,098	—	65,230	—	26.9938	—	0.0	97.6
	8月末	2,199	4.8	66,888	2.5	27.1191	0.5	0.0	98.7
	(期末) 2025年9月8日	2,207	5.2	66,704	2.3	27.4194	1.6	0.0	97.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.8～2025.9.8)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、トランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。さらに、2025年4月初旬に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価は下落しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、A I（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇基調で当作成期末を迎えました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

ブラジル・レアル為替相場は、2025年4月初旬の米国の関税政策やブラジル経済指標の悪化で、一時、対円で下落（円高）しました。5月以降は、ブラジル中央銀行の金利据え置きや米国経済の堅調さを背景に、ブラジル・レアルは対円で上昇基調となり、当作成期末を迎えました。

■短期金利市況

ブラジルでは、ブラジル中央銀行が政策金利を13.25%から15.00%に引き上げました。一方、米国では、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標は4.25～4.50%に据え置かれました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.8～2025.9.8)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行いました。

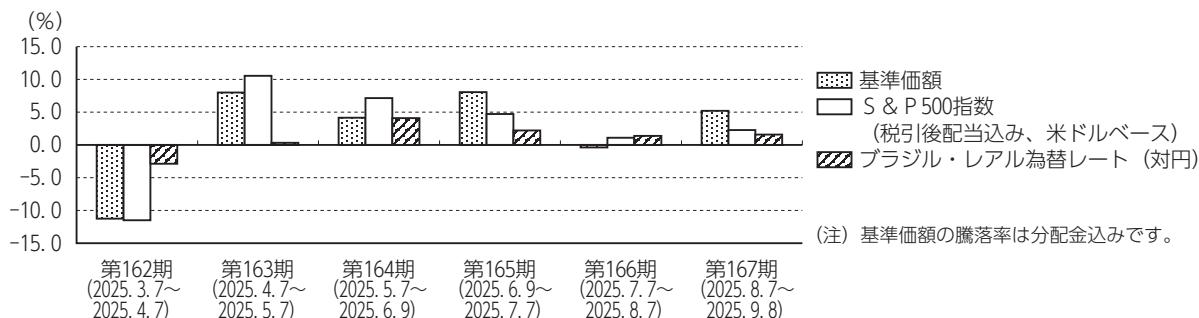
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2025年3月8日 ～2025年4月7日	2025年4月8日 ～2025年5月7日	2025年5月8日 ～2025年6月9日	2025年6月10日 ～2025年7月7日	2025年7月8日 ～2025年8月7日	2025年8月8日 ～2025年9月8日
当期分配金（税込み）(円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	1.10	1.03	1.00	0.93	0.94	0.91
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,413	1,425	1,429	1,442	1,451	1,463

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 27.92円	✓ 32.18円	✓ 24.08円	✓ 33.40円	✓ 28.92円	✓ 32.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,038.59	1,039.57	1,040.45	1,041.29	1,041.99	1,042.70
(d) 分配準備積立金	366.64	373.59	384.90	388.14	400.85	409.06
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,433.16	1,445.35	1,449.44	1,462.84	1,471.76	1,483.91
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,413.16	1,425.35	1,429.44	1,442.84	1,451.76	1,463.91

(注) ✓ を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とならない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第162期～第167期 (2025. 3. 8～2025. 9. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	14円	0. 679%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,028円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0. 222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0. 445)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0. 682	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

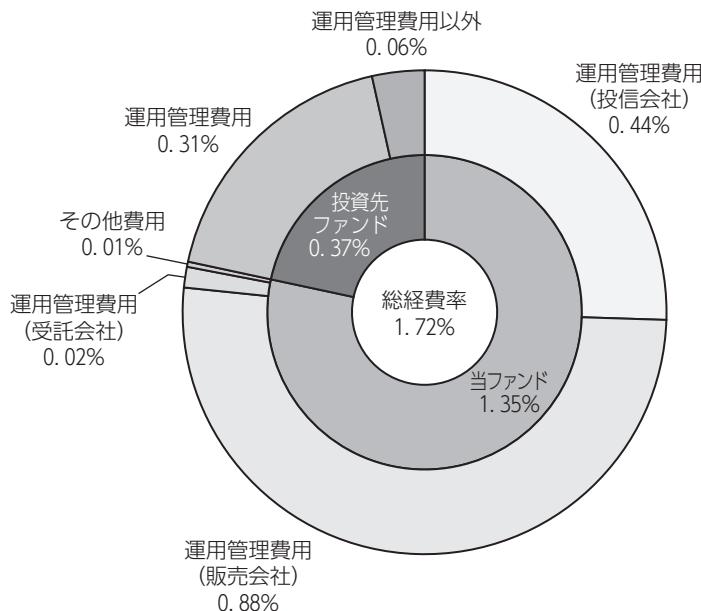
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

決 算 期		第 162 期～第 167 期			
外 国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
		30,713.30961	881,878	43,731.91906	1,280,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

当成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

区 分	第 162 期～第 167 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,374,428	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 167 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外 国 投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	千口 317,616.97809	千円 9,859,466	% 97.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第161期末		第 167 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月8日現在

項 目	第 167 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,859,466	% 96.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	375,996	3.7
投資信託財産総額	10,235,464	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)、(2025年5月7日)、(2025年6月9日)、(2025年7月7日)、(2025年8月7日)、(2025年9月8日)現在

項目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
(A) 資産	8,789,458,882円	9,319,993,344円	9,545,897,087円	10,140,248,475円	9,932,342,519円	10,473,064,358円
コール・ローン等	225,975,846	348,217,102	184,590,098	243,243,926	355,149,351	138,396,329
投資信託受益証券（評価額）	8,563,481,243	8,971,774,448	9,361,305,195	9,897,002,754	9,577,191,372	9,859,466,234
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,793	1,794	1,794	1,795	1,796	1,796
未収入金	—	—	—	—	—	475,199,999
(B) 負債	110,093,594	126,225,339	115,323,676	107,362,854	114,792,432	364,678,207
未払金	—	—	—	—	—	237,600,000
未払収益分配金	96,347,941	95,466,472	94,982,072	94,396,639	93,581,128	92,435,890
未払解約金	2,297,034	20,926,134	8,858,231	2,637,943	9,495,031	22,270,397
未払信託報酬	11,378,970	9,703,689	11,285,252	10,068,521	11,386,821	11,969,197
その他未払費用	69,649	129,044	198,121	259,751	329,452	402,723
(C) 純資産総額 (A - B)	8,679,365,288	9,193,768,005	9,430,573,411	10,032,885,621	9,817,550,087	10,108,386,151
元本	48,173,970,935	47,733,236,161	47,491,036,468	47,198,319,649	46,790,564,315	46,217,945,102
次期継越損益金	△ 39,494,605,647	△ 38,539,468,156	△ 38,060,463,057	△ 37,165,434,028	△ 36,973,014,228	△ 36,109,558,951
(D) 受益権総口数	48,173,970,935口	47,733,236,161口	47,491,036,468口	47,198,319,649口	46,790,564,315口	46,217,945,102口
1万口当り基準価額 (C/D)	1,802円	1,926円	1,986円	2,126円	2,098円	2,187円

* 当作成期における元本額は48,345,445,968円、当作成期間（第162期～第167期）中における追加設定元本額は584,378,179円、同解約元本額は2,711,879,045円です。

* 第167期末の計算口数当りの純資産額は2,187円です。

* 第167期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は36,109,558,951円です。

■損益の状況

第162期 自 2025年3月8日 至 2025年4月7日	第164期 自 2025年5月8日 至 2025年6月9日	第166期 自 2025年7月8日 至 2025年8月7日
第163期 自 2025年4月8日 至 2025年5月7日	第165期 自 2025年6月10日 至 2025年7月7日	第167期 自 2025年8月8日 至 2025年9月8日

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(A) 配当等収益	145,959,025円	155,823,141円	117,792,266円	159,765,288円	146,786,034円	152,093,920円
受取配当金	145,866,810	155,784,103	117,697,266	159,722,638	146,738,924	152,005,224
受取利息	92,215	39,038	95,000	42,650	47,110	88,696
(B) 有価証券売買損益	△ 1,250,793,933	543,198,400	271,982,498	605,183,856	△ 170,400,884	363,332,180
売買益	912,534	543,670,600	272,312,155	606,343,149	1,162,980	366,452,747
売買損	△ 1,251,706,467	△ 472,200	△ 329,657	△ 1,159,293	△ 171,563,864	△ 3,120,567
(C) 信託報酬等	△ 11,448,619	△ 9,763,084	△ 11,354,329	△ 10,130,151	△ 11,456,522	△ 12,042,468
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,116,283,527	689,258,457	378,420,435	754,818,993	△ 35,071,372	503,383,632
(E) 前期継越損益金	△ 18,597,652,684	△ 19,578,122,366	△ 18,844,799,908	△ 18,407,120,309	△ 17,563,174,436	△ 17,444,882,575
(F) 追加信託差損益金	△ 19,684,321,495	△ 19,555,137,775	△ 19,499,101,512	△ 19,418,736,073	△ 19,281,187,292	△ 19,075,624,118
(配当等相当額)	(5,003,335,321)	(4,962,219,278)	(4,941,243,854)	(4,914,756,277)	(4,875,534,273)	(4,819,176,229)
(売買損益相当額)	(△ 24,687,656,816)	(△ 24,517,357,053)	(△ 24,440,345,366)	(△ 24,333,492,350)	(△ 24,156,721,565)	(△ 23,894,800,347)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 39,398,257,706	△ 38,444,001,684	△ 37,965,480,985	△ 37,071,037,389	△ 36,879,433,100	△ 36,017,123,061
(H) 収益分配金	△ 96,347,941	△ 95,466,472	△ 94,982,072	△ 94,396,639	△ 93,581,128	△ 92,435,890
次期継越損益金 (G + H)	△ 39,494,605,647	△ 38,539,468,156	△ 38,060,463,057	△ 37,165,434,028	△ 36,973,014,228	△ 36,109,558,951
追加信託差損益金 (配当等相当額)	(5,003,335,321)	(4,962,219,278)	(4,941,243,854)	(4,914,756,277)	(4,875,534,273)	(4,819,176,229)
(売買損益相当額)	(△ 24,687,656,816)	(△ 24,517,357,053)	(△ 24,440,345,366)	(△ 24,333,492,350)	(△ 24,156,721,565)	(△ 23,894,800,347)
分配準備積立金	1,804,448,716	1,841,482,399	1,847,326,841	1,895,228,379	1,917,377,683	1,946,719,022
継越損益金	△ 21,614,732,868	△ 20,825,812,780	△ 20,408,688,386	△ 19,641,926,334	△ 19,609,204,619	△ 18,980,653,855

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	134,510,406円	153,646,950円	114,360,988円	157,649,099円	135,329,512円	148,540,188円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,003,335,321	4,962,219,278	4,941,243,854	4,914,756,277	4,875,534,273	4,819,176,229
(d) 分配準備積立金	1,766,286,251	1,783,301,921	1,827,947,925	1,831,975,919	1,875,629,299	1,890,614,724
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	6,904,131,978	6,899,168,149	6,883,552,767	6,904,381,295	6,886,493,084	6,858,331,141
(f) 分配金	96,347,941	95,466,472	94,982,072	94,396,639	93,581,128	92,435,890
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	6,807,784,037	6,803,701,677	6,788,570,695	6,809,984,656	6,792,911,956	6,765,895,251
(h) 受益権総口数	48,173,970,935□	47,733,236,161□	47,491,036,468□	47,198,319,649□	46,790,564,315□	46,217,945,102□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金(税込み)	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

米ドル・コース（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指數)	期騰落率			
138期末(2023年4月7日)	円 6,214	円 40	% △ 6.2	70,809	% △ 1.7	—	% 97.4	百万円 2,466
139期末(2023年5月8日)	6,344	40	2.7	73,204	3.4	—	99.4	2,519
140期末(2023年6月7日)	6,504	40	3.2	78,374	7.1	—	99.2	2,503
141期末(2023年7月7日)	6,806	40	5.3	83,468	6.5	—	99.6	2,594
142期末(2023年8月7日)	7,041	40	4.0	83,335	△ 0.2	—	98.3	2,675
143期末(2023年9月7日)	7,255	40	3.6	86,870	4.2	—	95.1	2,730
144期末(2023年10月10日)	7,033	40	△ 2.5	84,804	△ 2.4	—	99.5	2,639
145期末(2023年11月7日)	7,083	40	1.3	86,301	1.8	—	98.2	2,646
146期末(2023年12月7日)	6,915	40	△ 1.8	88,292	2.3	—	99.2	2,574
147期末(2024年1月9日)	7,096	40	3.2	90,522	2.5	—	98.9	2,598
148期末(2024年2月7日)	7,340	40	4.0	96,751	6.9	—	97.2	2,627
149期末(2024年3月7日)	7,547	40	3.4	100,575	4.0	—	93.8	2,687
150期末(2024年4月8日)	7,792	40	3.8	104,533	3.9	0.0	98.3	2,667
151期末(2024年5月7日)	7,625	40	△ 1.6	105,694	1.1	0.0	99.5	2,592
152期末(2024年6月7日)	7,690	40	1.4	110,535	4.6	0.0	98.2	2,603
153期末(2024年7月8日)	7,831	40	2.4	118,717	7.4	0.0	98.2	2,593
154期末(2024年8月7日)	7,159	40	△ 8.1	102,250	△ 13.9	0.0	99.4	2,354
155期末(2024年9月9日)	7,173	40	0.8	102,592	0.3	0.0	97.5	2,346
156期末(2024年10月7日)	7,733	40	8.4	113,529	10.7	0.0	98.6	2,521
157期末(2024年11月7日)	8,147	40	5.9	121,953	7.4	0.0	97.7	2,634
158期末(2024年12月9日)	7,752	40	△ 4.4	121,529	△ 0.3	0.0	98.2	2,506
159期末(2025年1月7日)	7,813	40	1.3	125,988	3.7	0.0	97.5	2,491
160期末(2025年2月7日)	7,525	40	△ 3.2	122,719	△ 2.6	0.0	98.8	2,382
161期末(2025年3月7日)	7,240	40	△ 3.3	113,391	△ 7.6	0.0	99.7	2,286
162期末(2025年4月7日)	6,414	40	△ 10.9	98,804	△ 12.9	0.0	98.4	2,014
163期末(2025年5月7日)	6,678	40	4.7	107,173	8.5	0.0	99.7	2,085
164期末(2025年6月9日)	6,837	40	3.0	116,324	8.5	0.0	98.2	2,132
165期末(2025年7月7日)	7,073	40	4.0	121,407	4.4	0.0	99.4	2,195
166期末(2025年8月7日)	7,048	40	0.2	125,505	3.4	0.0	98.8	2,161
167期末(2025年9月8日)	7,245	40	3.4	129,036	2.8	0.0	98.3	2,197

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

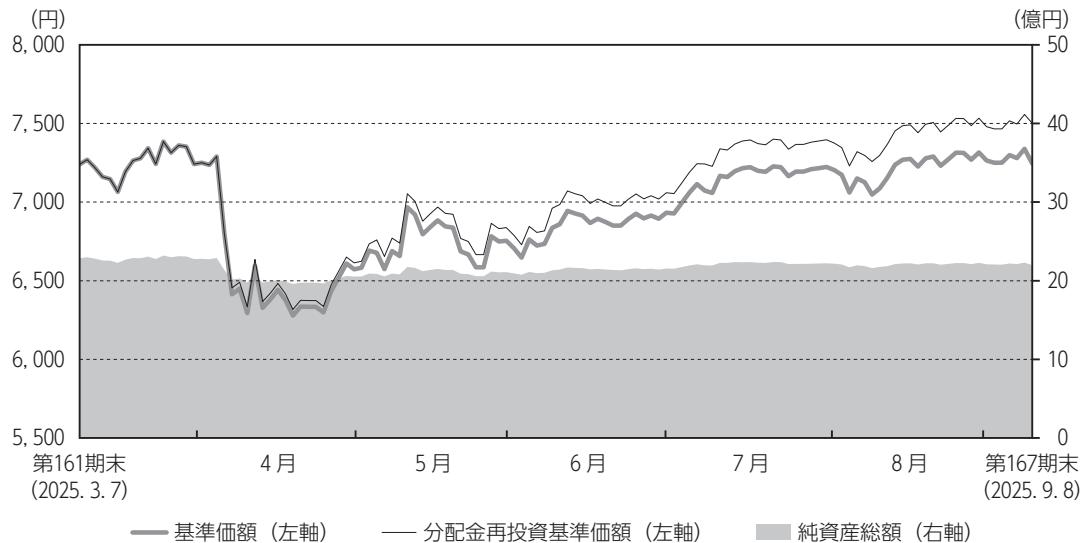
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当算成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第162期首：7,240円

第167期末：7,245円（既払分配金240円）

騰 落 率：3.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」については、米ドルが対円で下落（円高）したことやオプション取引戦略がマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト－クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額	S & P 500指数（税引後 配当込み、円換算）		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率 (参考指数)	騰 落 率		
第162期	(期首) 2025年3月7日	円 7,240	% —	% 113,391 —	% 0.0	% 99.7
	3月末	7,241	0.0	△ 111,435 1.7	0.0	98.0
	(期末) 2025年4月7日	6,454	△ 10.9	△ 98,804 12.9	0.0	98.4
第163期	(期首) 2025年4月7日	6,414	—	% 98,804 —	0.0	98.4
	4月末	6,573	2.5	7.2 105,937	0.0	99.0
	(期末) 2025年5月7日	6,718	4.7	8.5 107,173	0.0	99.7
第164期	(期首) 2025年5月7日	6,678	—	% 107,173 —	0.0	99.7
	5月末	6,755	1.2	6.1 113,763	0.0	99.8
	(期末) 2025年6月9日	6,877	3.0	8.5 116,324	0.0	98.2
第165期	(期首) 2025年6月9日	6,837	—	% 116,324 —	0.0	98.2
	6月末	6,933	1.4	2.9 119,659	0.0	98.7
	(期末) 2025年7月7日	7,113	4.0	4.4 121,407	0.0	99.4
第166期	(期首) 2025年7月7日	7,073	—	% 121,407 —	0.0	99.4
	7月末	7,204	1.9	4.9 127,308	0.0	97.9
	(期末) 2025年8月7日	7,088	0.2	3.4 125,505	0.0	98.8
第167期	(期首) 2025年8月7日	7,048	—	% 125,505 —	0.0	98.8
	8月末	7,264	3.1	2.0 128,042	0.0	99.7
	(期末) 2025年9月8日	7,285	3.4	2.8 129,036	0.0	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 3. 8 ~ 2025. 9. 8)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、トランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。さらに、2025年4月初旬に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価は下落しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、AI（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇基調で当作成期末を迎きました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まつたことなどから、円高基調となりました。2025年5月は、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まつたことなどから、月前半に円安が進行しましたが、後半には、国内金利の上昇を受けた日米金利差縮小の思惑などから円高圧力が強まり、米ドル円は上昇幅を縮小しました。6月には、中東情勢の緊迫化などから米ドル円が上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから、日米金利差縮小への期待が後退し、円安が進行しました。7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まつたことなどから、円安基調が継続しました。8月は、軟調な雇用統計などを受けて米国の利下げ期待が高まつたことで金利差縮小が意識され、急速に円高となりましたが、その後、当作成期末にかけてレンジでの推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S&P500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキー・モデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.8～2025.9.8)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S&P500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキー・モデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

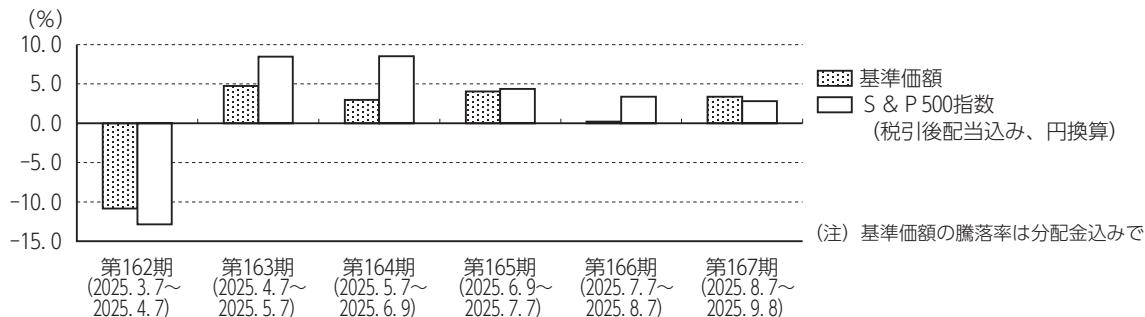
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2025年3月8日 ～2025年4月7日	2025年4月8日 ～2025年5月7日	2025年5月8日 ～2025年6月9日	2025年6月10日 ～2025年7月7日	2025年7月8日 ～2025年8月7日	2025年8月8日 ～2025年9月8日
当期分配金（税込み）(円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.62	0.60	0.58	0.56	0.56	0.55
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,434	2,456	2,469	2,486	2,497	2,517

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることございません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 54.86円	✓ 61.28円	✓ 52.67円	✓ 57.68円	✓ 50.42円	✓ 60.54円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	795.56	801.29	804.06	807.26	811.17	813.78
(d) 分配準備積立金	1,624.52	1,633.75	1,652.26	1,661.76	1,675.54	1,683.34
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,474.94	2,496.32	2,509.01	2,526.71	2,537.13	2,557.67
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,434.94	2,456.32	2,469.01	2,486.71	2,497.13	2,517.67

(注) ✓ を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.Sストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とならない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第162期～第167期 (2025. 3. 8～2025. 9. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	47円	0. 682%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,959円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 223)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0. 446)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0. 686	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

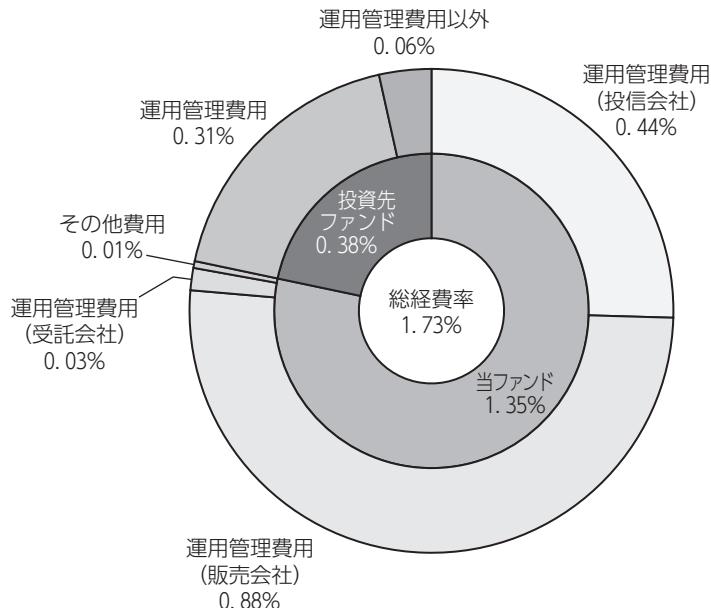
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.73%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

決 算 期		第 162 期～第 167 期			
外 国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
787.28231	112,268	1,414.64809	207,500		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

当成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

区 分	第 162 期～第 167 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,374,428	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 167 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外 国 投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	千口 14,476.71865	千円 2,159,028	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第161期末			第 167 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	千円	
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1	千円 1	千円 1	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月8日現在

項 目	第 167 期 末		
	評 価 額	比 率	%
投資信託受益証券	千円 2,159,028		97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1		0.0
コール・ローン等、その他	57,240		2.6
投資信託財産総額	2,216,270		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)、(2025年5月7日)、(2025年6月9日)、(2025年7月7日)、(2025年8月7日)、(2025年9月8日)現在

項目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
(A) 資産	2,029,666,369円	2,100,190,024円	2,149,193,784円	2,212,265,767円	2,180,546,330円	2,216,270,940円
コール・ローン等	48,342,587	21,618,913	54,604,979	29,705,174	45,620,039	57,240,080
投資信託受益証券（評価額）	1,981,321,791	2,078,569,120	2,094,586,813	2,182,558,600	2,134,924,298	2,159,028,866
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,991	1,991	1,992	1,993	1,993	1,994
(B) 負債	15,193,171	14,844,148	16,488,274	16,484,555	19,459,355	18,811,728
未払収益分配金	12,563,468	12,491,549	12,476,594	12,417,062	12,265,233	12,132,569
未払解約金	17,033	85,986	1,401,682	1,779,001	4,580,385	3,979,253
未払信託報酬	2,596,787	2,237,049	2,564,749	2,229,603	2,539,318	2,609,529
その他未払費用	15,883	29,564	45,249	58,889	74,419	90,377
(C) 純資産総額 (A - B)	2,014,473,198	2,085,345,876	2,132,705,510	2,195,781,212	2,161,086,975	2,197,459,212
元本	3,140,867,028	3,122,887,410	3,119,148,598	3,104,265,625	3,066,308,402	3,033,142,429
次期継越損益金	△ 1,126,393,830	△ 1,037,541,534	△ 986,443,088	△ 908,484,413	△ 905,221,427	△ 835,683,217
(D) 受益権総口数	3,140,867,028口	3,122,887,410口	3,119,148,598口	3,104,265,625口	3,066,308,402口	3,033,142,429口
1万口当り基準価額 (C/D)	6,414円	6,678円	6,837円	7,073円	7,048円	7,245円

* 当作成期首における元本額は3,158,267,143円、当作成期間（第162期～第167期）中における追加設定元本額は38,677,264円、同解約元本額は163,801,978円です。

* 第167期末の計算口数当りの純資産額は7,245円です。

* 第167期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は835,683,217円です。

■損益の状況

第162期 自 2025年3月8日 至 2025年4月7日	第164期 自 2025年5月8日 至 2025年6月9日	第166期 自 2025年7月8日 至 2025年8月7日
第163期 自 2025年4月8日 至 2025年5月7日	第165期 自 2025年6月10日 至 2025年7月7日	第167期 自 2025年8月8日 至 2025年9月8日

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(A) 配当等収益	19,844,160円	19,591,547円	17,111,185円	18,376,335円	18,015,564円	19,034,146円
受取配当金	19,823,863	19,581,474	17,104,368	18,362,334	18,002,461	19,024,503
受取利息	20,297	10,073	6,817	14,001	13,103	9,643
(B) 有価証券売買損益	△ 264,319,327	77,447,513	47,795,038	69,526,437	△ 11,068,607	55,468,037
売買益	253,151	77,711,911	47,935,220	69,554,195	724,937	55,767,077
売買損	△ 264,572,478	△ 264,398	△ 140,182	△ 27,758	△ 11,793,544	△ 299,040
(C) 信託報酬等	△ 2,612,670	△ 2,250,730	△ 2,580,434	△ 2,243,243	△ 2,554,848	△ 2,625,487
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 247,087,837	94,788,330	62,325,789	85,659,529	4,392,109	71,876,696
(E) 前期継越損益金	202,442,586	△ 56,685,916	25,537,415	74,883,608	145,974,400	136,395,827
(F) 追加信託差損益金	△ 1,069,185,111	△ 1,063,152,399	△ 1,061,829,698	△ 1,056,610,488	△ 1,043,322,703	△ 1,031,823,171
(配当等相当額)	(249,875,121)	(250,235,152)	(250,800,358)	(250,595,232)	(248,729,986)	(246,832,764)
(売買損益相当額)	(△ 1,319,060,232)	(△ 1,313,387,551)	(△ 1,312,630,056)	(△ 1,307,205,720)	(△ 1,292,052,689)	(△ 1,278,655,935)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 1,113,830,362	△ 1,025,049,985	△ 973,966,494	△ 896,067,351	△ 892,956,194	△ 823,550,648
(H) 収益分配金	△ 12,563,468	△ 12,491,549	△ 12,476,594	△ 12,417,062	△ 12,265,233	△ 12,132,569
次期継越損益金 (G + H)	△ 1,126,393,830	△ 1,037,541,534	△ 986,443,088	△ 908,484,413	△ 905,221,427	△ 835,683,217
追加信託差損益金	△ 1,069,185,111	△ 1,063,152,399	△ 1,061,829,698	△ 1,056,610,488	△ 1,043,322,703	△ 1,031,823,171
(配当等相当額)	(249,875,121)	(250,235,152)	(250,800,358)	(250,595,232)	(248,729,986)	(246,832,764)
(売買損益相当額)	(△ 1,319,060,232)	(△ 1,313,387,551)	(△ 1,312,630,056)	(△ 1,307,205,720)	(△ 1,292,052,689)	(△ 1,278,655,935)
分配準備積立金	514,908,488	516,848,539	519,320,634	521,345,789	516,968,209	516,814,789
繰越損益金	△ 572,117,207	△ 491,237,674	△ 443,934,024	△ 373,219,714	△ 378,866,933	△ 320,674,835

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,231,490円	19,137,125円	16,430,983円	17,907,273円	15,460,716円	18,363,334円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	249,875,121	250,235,152	250,800,358	250,595,232	248,729,986	246,832,764
(d) 分配準備積立金	510,240,466	510,202,963	515,366,245	515,855,578	513,772,726	510,584,024
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	777,347,077	779,575,240	782,597,586	784,358,083	777,963,428	775,780,122
(f) 分配金	12,563,468	12,491,549	12,476,594	12,417,062	12,265,233	12,132,569
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	764,783,609	767,083,691	770,120,992	771,941,021	765,698,195	763,647,553
(h) 受益権総口数	3,140,867,028□	3,122,887,410□	3,119,148,598□	3,104,265,625□	3,066,308,402□	3,033,142,429□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金(税込み)	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遗漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

通貨セレクト・コース（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				S & P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	中率	(参考指數)	期騰落率			
118期末(2023年4月7日)	円 2,845	円 30	% △ 5.2		% 28,320	% 1.5	% —	% 98.9	百万円 126
119期末(2023年5月8日)	2,923	30	3.8		28,550	0.8	—	99.1	131
120期末(2023年6月7日)	3,074	30	6.2		29,609	3.7	—	98.5	137
121期末(2023年7月7日)	3,129	30	2.8		30,518	3.1	—	98.9	142
122期末(2023年8月7日)	3,226	30	4.1		30,997	1.6	—	97.6	144
123期末(2023年9月7日)	3,293	30	3.0		30,948	△ 0.2	—	99.3	148
124期末(2023年10月10日)	3,106	30	△ 4.8		30,078	△ 2.8	—	99.4	143
125期末(2023年11月7日)	3,234	30	5.1		30,303	0.7	—	97.6	149
126期末(2023年12月7日)	3,156	30	△ 1.5		31,620	4.3	—	99.1	147
127期末(2024年1月9日)	3,265	30	4.4		33,137	4.8	—	97.5	152
128期末(2024年2月7日)	3,339	30	3.2		34,483	4.1	—	98.5	150
129期末(2024年3月7日)	3,421	30	3.4		35,571	3.2	—	99.4	154
130期末(2024年4月8日)	3,596	30	6.0		36,294	2.0	0.0	97.5	162
131期末(2024年5月7日)	3,478	30	△ 2.4		36,147	△ 0.4	0.0	99.0	156
132期末(2024年6月7日)	3,506	30	1.7		37,390	3.4	0.0	99.1	158
133期末(2024年7月8日)	3,518	30	1.2		38,919	4.1	0.0	96.8	152
134期末(2024年8月7日)	3,173	30	△ 9.0		36,651	△ 5.8	0.0	98.1	136
135期末(2024年9月9日)	3,214	30	2.2		37,871	3.3	0.0	99.2	138
136期末(2024年10月7日)	3,465	30	8.7		40,302	6.4	0.0	97.6	149
137期末(2024年11月7日)	3,575	30	4.0		41,568	3.1	0.0	98.4	154
138期末(2024年12月9日)	3,357	30	△ 5.3		42,744	2.8	0.0	99.0	145
139期末(2025年1月7日)	3,365	30	1.1		41,968	△ 1.8	0.0	97.7	145
140期末(2025年2月7日)	3,265	30	△ 2.1		42,749	1.9	0.0	98.9	141
141期末(2025年3月7日)	3,172	30	△ 1.9		40,361	△ 5.6	0.0	99.8	137
142期末(2025年4月7日)	2,756	30	△ 12.2		35,722	△ 11.5	0.0	98.4	118
143期末(2025年5月7日)	2,923	30	7.1		39,493	10.6	0.0	99.4	126
144期末(2025年6月9日)	3,034	30	4.8		42,311	7.1	0.0	98.4	130
145期末(2025年7月7日)	3,206	30	6.7		44,310	4.7	0.0	97.6	136
146期末(2025年8月7日)	3,173	30	△ 0.1		44,794	1.1	0.0	97.5	133
147期末(2025年9月8日)	3,287	30	4.5		45,807	2.3	0.0	98.8	137

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指標の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指標提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指標は直近で知り得るデータを使用しております。

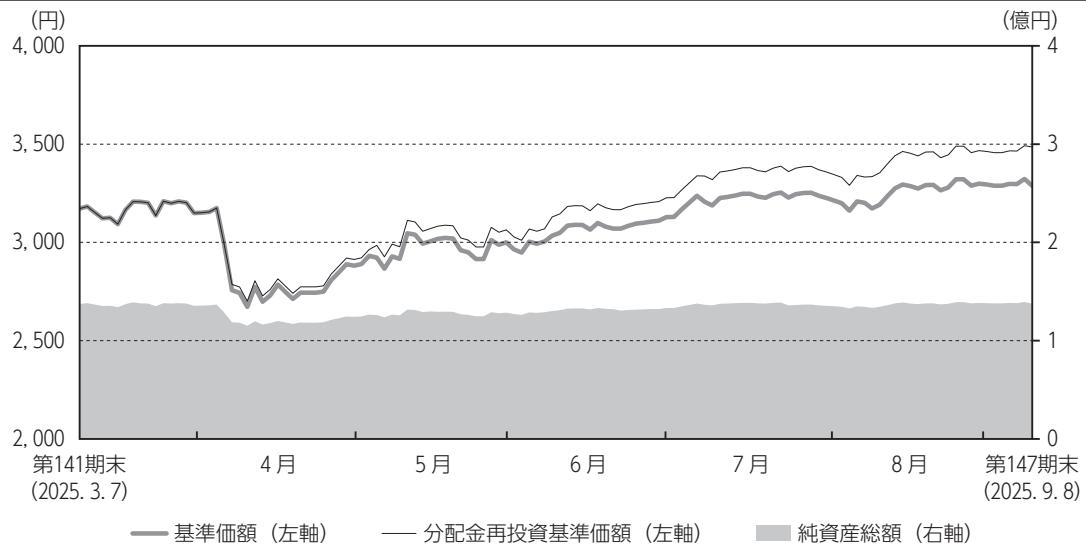
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第142期首：3,172円

第147期末：3,287円（既払分配金180円）

騰 落 率：9.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」が上昇したことにより、基準価額は上昇しました。「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」については、オプション取引戦略がマイナス要因となったものの、米国株式市況の上昇や選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額	S & P 500指数（税引後 配当込み、米ドルベース）		公 社 債 組入比率	投 資 信 託 受 益 証 券 組入比率
			騰 落 率 (参考指標)	騰 落 率		
第142期	(期首) 2025年 3月 7日	円 3,172	% —	% 40,361	% —	% 0.0 99.8
	3月末	3,149	△ 0.7	39,280	△ 2.7	0.0 97.6
	(期末) 2025年 4月 7日	2,786	△ 12.2	35,722	△ 11.5	0.0 98.4
第143期	(期首) 2025年 4月 7日	2,756	—	35,722	—	0.0 98.4
	4月末	2,882	4.6	39,163	9.6	0.0 98.4
	(期末) 2025年 5月 7日	2,953	7.1	39,493	10.6	0.0 99.4
第144期	(期首) 2025年 5月 7日	2,923	—	39,493	—	0.0 99.4
	5月末	3,000	2.6	41,676	5.5	0.0 97.4
	(期末) 2025年 6月 9日	3,064	4.8	42,311	7.1	0.0 98.4
第145期	(期首) 2025年 6月 9日	3,034	—	42,311	—	0.0 98.4
	6月末	3,129	3.1	43,551	2.9	0.0 99.2
	(期末) 2025年 7月 7日	3,236	6.7	44,310	4.7	0.0 97.6
第146期	(期首) 2025年 7月 7日	3,206	—	44,310	—	0.0 97.6
	7月末	3,213	0.2	44,915	1.4	0.0 99.0
	(期末) 2025年 8月 7日	3,203	△ 0.1	44,794	1.1	0.0 97.5
第147期	(期首) 2025年 8月 7日	3,173	—	44,794	—	0.0 97.5
	8月末	3,295	3.8	45,933	2.5	0.0 97.9
	(期末) 2025年 9月 8日	3,317	4.5	45,807	2.3	0.0 98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.3.8～2025.9.8)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当成期首より、トランプ政権による関税引き上げへの懸念が強まり、下落しました。さらに、2025年4月初旬に発表された米国の相互関税が事前予想よりも厳しい内容であったことから、株価は下落しました。しかし、同月9日に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、株価は反発しました。5月以降は、米中双方が関税を大幅に引き下げるなど米国の関税をめぐる懸念が後退する中で、AI（人工知能）関連企業の成長期待が高まったことやFRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まつたことなどが好感され、上昇基調で当成期末を迎えるました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

当成期における選定通貨の対円為替相場は、米国の利下げ観測の高まりなどが新興国通貨の上昇材料となり、メキシコ・ペソ、ブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリン、南アフリカ・ランド、ルーマニア・レイは対円で上昇しました。一方で、インド・ルピー、トルコ・リラは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国では、政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標は4.25～4.50%に据え置かれました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S&P500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.3.8～2025.9.8)

■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益（利息収入）が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

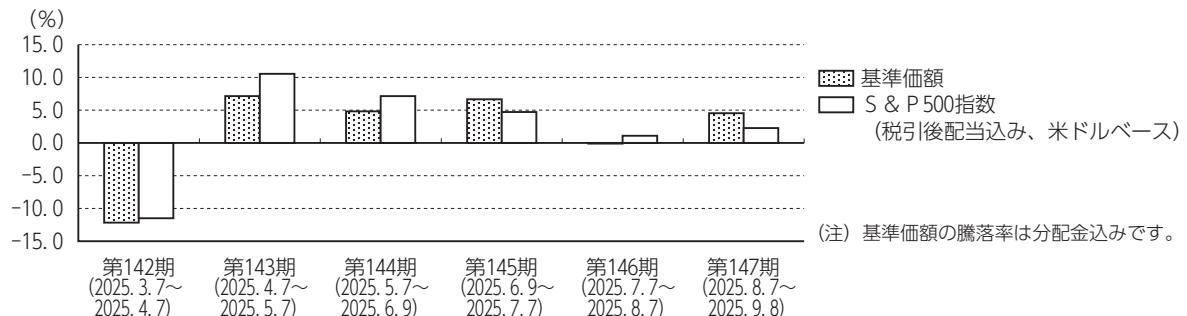
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当分成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
	2025年3月8日 ～2025年4月7日	2025年4月8日 ～2025年5月7日	2025年5月8日 ～2025年6月9日	2025年6月10日 ～2025年7月7日	2025年7月8日 ～2025年8月7日	2025年8月8日 ～2025年9月8日
当期分配金（税込み）(円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	1.08	1.02	0.98	0.93	0.94	0.90
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,375	1,414	1,434	1,478	1,507	1,540

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 61.17円	✓ 68.85円	✓ 50.50円	✓ 74.26円	✓ 58.88円	✓ 62.78円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	472.38	474.83	478.96	481.95	485.03	487.52
(d) 分配準備積立金	871.62	900.36	935.15	952.73	993.94	1,020.38
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	1,405.17	1,444.05	1,464.63	1,508.95	1,537.87	1,570.69
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e-f）	1,375.17	1,414.05	1,434.63	1,478.95	1,507.87	1,540.69

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、ク「ロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーU.S.ストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキー・モデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット ブロードの構成国の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とならない場合があります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第142期～第147期 (2025. 3. 8～2025. 9. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0. 680%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,089円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0. 222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0. 445)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	21	0. 683	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

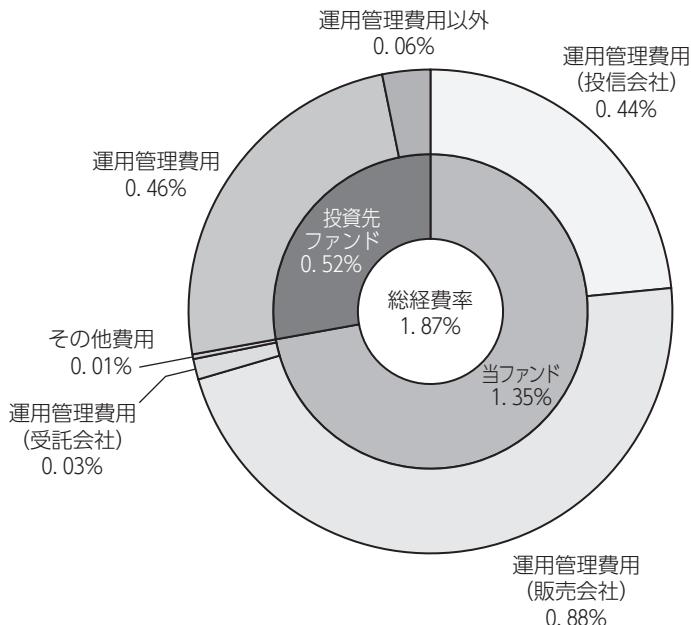
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.87%
①当 ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先 ファンドの運用管理費用の比率	0.46%
③投資先 ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

(注1) 投資先 ファンドとは、当 ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先 ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

決 算 期		第 142 期～第 147 期			
外 国 (邦貨建)	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
695,74265	16,616	572,16903	14,200		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

当成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当成期中の利害関係人との取引状況

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

決 算 期	第 142 期～第 147 期					
	区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B		売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D
			B/A	C		D/C
公社債	百万円 43,163	百万円 15,790	% 36.6	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,374,428	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 147 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	千口 5,409,13272	千円 136,250	% 98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第141期末			第 147 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	千口	千円	%
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	1	1	1	1	100.0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年9月8日現在

項 目	第 147 期 末		
	評 価 額	比 率	%
投資信託受益証券	千円 136,250		97.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	1		0.0
コール・ローン等、その他	3,019		2.2
投資信託財産総額	139,271		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月7日)、(2025年5月7日)、(2025年6月9日)、(2025年7月7日)、(2025年8月7日)、(2025年9月8日)現在

項目	第142期末	第143期末	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末
(A) 資産	120,064,916円	127,492,539円	131,630,878円	137,936,673円	134,778,056円	139,271,935円
コール・ローン等	3,384,082	2,158,875	3,577,585	4,725,877	4,749,043	3,019,480
投資信託受益証券（評価額）	116,679,027	125,331,856	128,051,484	133,208,987	130,027,203	136,250,644
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,807	1,808	1,809	1,809	1,810	1,811
(B) 負債	1,461,488	1,432,813	1,445,710	1,418,212	1,421,913	1,426,563
未払収益分配金	1,291,260	1,293,771	1,287,249	1,277,327	1,260,990	1,258,189
未払解約金	13,584	3,489	—	—	—	523
未払信託報酬	155,700	133,805	155,773	137,370	156,464	162,407
その他未払費用	944	1,748	2,688	3,515	4,459	5,444
(C) 純資産総額 (A - B)	118,603,428	126,059,726	130,185,168	136,518,461	133,356,143	137,845,372
元本	430,420,260	431,257,242	429,083,110	425,775,886	420,330,018	419,396,398
次期繰越損益金	△ 311,816,832	△ 305,197,516	△ 298,897,942	△ 289,257,425	△ 286,973,875	△ 281,551,026
(D) 受益権総口数	430,420,260口	431,257,242口	429,083,110口	425,775,886口	420,330,018口	419,396,398口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,756円	2,923円	3,034円	3,206円	3,173円	3,287円

* 作当成期首における元本額は433,007,950円、作当成期間（第142期～第147期）中における追加設定元本額は7,668,898円、同解約元本額は21,280,450円です。

* 第147期末の計算口数当りの純資産額は3,287円です。

* 第147期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は281,551,026円です。

■損益の状況

第142期	自 2025年3月8日	至 2025年4月7日	第144期	自 2025年5月8日	至 2025年6月9日	第146期	自 2025年7月8日	至 2025年8月7日
第143期	自 2025年4月8日	至 2025年5月7日	第145期	自 2025年6月10日	至 2025年7月7日	第147期	自 2025年8月8日	至 2025年9月8日

項目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
(A) 配当等収益	2,789,663円	3,016,279円	2,223,441円	3,212,647円	2,632,634円	2,704,522円
受取配当金	2,788,702	3,015,399	2,222,333	3,211,958	2,631,428	2,703,134
受取利息	961	880	1,108	689	1,206	1,388
(B) 有価証券売買損益	△ 19,273,186	5,635,592	3,975,492	5,535,863	△ 2,631,430	3,499,694
売買益	47,657	5,635,531	4,000,160	5,545,546	11,896	3,520,284
売買損	△ 19,320,843	61	△ 24,668	△ 9,683	△ 2,643,326	△ 20,590
(C) 信託報酬等	△ 156,644	△ 134,609	△ 156,713	△ 138,197	△ 157,408	△ 163,392
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 16,640,167	8,517,262	6,042,220	8,610,313	△ 156,204	6,040,824
(E) 前期繰越損益金	△ 29,210,093	△ 47,106,155	△ 39,509,795	△ 34,381,193	△ 26,620,554	△ 27,908,484
(F) 追加信託差損益金	△ 264,675,312	△ 265,314,852	△ 264,143,118	△ 262,209,218	△ 258,936,127	△ 258,425,177
(配当等相当額)	(20,332,270)	(20,477,441)	(20,551,647)	(20,520,627)	(20,387,657)	(20,446,664)
(売買損益相当額)	(△ 285,007,582)	(△ 285,792,293)	(△ 284,694,765)	(△ 282,729,845)	(△ 279,323,784)	(△ 278,871,841)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 310,525,572	△ 303,903,745	△ 297,610,693	△ 287,980,098	△ 285,712,885	△ 280,292,837
(H) 収益分配金	△ 1,291,260	△ 1,293,771	△ 1,287,249	△ 1,277,327	△ 1,260,990	△ 1,258,189
次期繰越損益金 (G + H)	△ 311,816,832	△ 305,197,516	△ 298,897,942	△ 289,257,425	△ 286,973,875	△ 281,551,026
追加信託差損益金	△ 264,675,312	△ 265,314,852	△ 264,143,118	△ 262,209,218	△ 258,936,127	△ 258,425,177
(配当等相当額)	(20,332,270)	(20,477,441)	(20,551,647)	(20,520,627)	(20,387,657)	(20,446,664)
(売買損益相当額)	(△ 285,007,582)	(△ 285,792,293)	(△ 284,694,765)	(△ 282,729,845)	(△ 279,323,784)	(△ 278,871,841)
分配準備積立金	38,858,200	40,504,632	41,005,927	42,449,668	42,992,740	44,169,638
繰越損益金	△ 85,999,720	△ 80,387,296	△ 75,760,751	△ 69,497,875	△ 71,030,488	△ 67,295,487

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,633,019円	2,969,354円	2,167,228円	3,161,901円	2,475,226円	2,633,299円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	20,332,270	20,477,441	20,551,647	20,520,627	20,387,657	20,446,664
(d) 分配準備積立金	37,516,441	38,829,049	40,125,948	40,565,094	41,778,504	42,794,528
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	60,481,730	62,275,844	62,844,823	64,247,622	64,641,387	65,874,491
(f) 分配金	1,291,260	1,293,771	1,287,249	1,277,327	1,260,990	1,258,189
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	59,190,470	60,982,073	61,557,574	62,970,295	63,380,397	64,616,302
(h) 受益権総口数	430,420,260□	431,257,242□	429,083,110□	425,775,886□	420,330,018□	419,396,398□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金(税込み)	第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	第147期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

＜変更前＞

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

＜変更後＞

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

クロッキーU Sストラテジー・ファンド
(日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス)

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト－クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものであります。

(日本円建て)

貸借対照表

2025年2月28日

資産

現金および現金同等物	¥	13,530,865,666
その他資産		4,074
資産合計		13,530,869,740

負債

投資資産の公正価値による評価額（簿価 ¥672,688）	162,693,709
未払：	
専門家報酬	11,332,045
償還済み受益証券	6,300,000
管理会社報酬	1,726,281
運用会社報酬	1,471,916
清算済みスワップ取引	398,518
名義書換代理人報酬	202,750
受託会社報酬	129,634
為替投資アドバイザー報酬	52,600
登録料	3,651
その他負債	1,326
負債合計	184,312,430

純資産

¥	13,346,557,310
---	----------------

豪ドル・クラス	¥	630,331,004
ブラジル・レアル・クラス		10,013,867,565
日本円・クラス		213,612,460
通貨セレクト・クラス		139,565,533
米ドル・クラス		2,349,180,748
	¥	13,346,557,310

発行済み受益証券

豪ドル・クラス	8,027,178
ブラジル・レアル・クラス	330,635,588
日本円・クラス	2,940,363
通貨セレクト・クラス	5,285,559
米ドル・クラス	15,104,084

受益証券1口当たり純資産額

豪ドル・クラス	¥	78.525
ブラジル・レアル・クラス	¥	30.287
日本円・クラス	¥	72.648
通貨セレクト・クラス	¥	26.405
米ドル・クラス	¥	155.533

(日本円建て)

損益計算書

2025年2月28日に終了した年度

投資収益

受取利息

¥ 680,975,943

その他収益

28,606,090

投資収益合計

709,582,033

費用

運用会社報酬

30,367,724

管理会社報酬

13,836,093

専門家報酬

9,522,084

受託会社報酬

2,474,991

名義書換代理人報酬

2,180,938

為替投資アドバイザー報酬

222,117

その他費用

898,036

費用合計

59,501,983

純投資損益

650,080,050

実現損益および評価損益の変動：

実現損益：

ストラクチャード商品への投資 725,418,596

外国為替スワップ取引 (1,953,274,945)

外国為替取引および外国為替先渡取引 61,426,713

61,426,713

(1,166,429,636)

純実現損益

評価損益の変動の内訳：

ストラクチャード商品への投資 (474,418,416)

外国為替換算 270,343,799

270,343,799

(204,074,617)

評価損益の純変動

純実現損益および評価損益の純変動

(1,370,504,253)

運用の結果による純資産の純増減

¥ (720,424,203)

(日本円建て)

投資明細表
2025年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に占める割合	公正価値による評価額
Share Basket Swap Transaction* - トータル・リターン・スワップ	769,151	(1.22) %	¥ (162,693,709)
ストラクチャード商品計（簿価 ￥ (672,688)）			(162,693,709)
投資資産計（簿価 ￥ (672,688)）		(1.22) %	¥ (162,693,709)

当ファンドは J.P. Morgan Securities plc. との間で締結したアンファンデッド・スワップを通じて Share Basket Swap Transaction と同様のエクスポージャーを有しています。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2025年9月8日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公社債

(2025年3月8日から2025年9月8日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
1306国庫短期証券 2025/8/18	13,492,845		
1325国庫短期証券 2025/11/17	12,985,752		
1296国庫短期証券 2025/6/30	11,489,972		
1324国庫短期証券 2025/11/10	2,897,018		
1305国庫短期証券 2025/8/12	2,297,769		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年9月8日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（26,953,418千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区分	2025年9月8日現在						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	15,900,000	15,886,953	57.8%	—%	—%	—%	57.8%

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年9月8日現在					
区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1324国庫短期証券	—%	2,900,000	2,897,913	2025/11/10
	1325国庫短期証券	—%	13,000,000	12,989,039	2025/11/17
合計	銘柄数	2銘柄			
	金額		15,900,000	15,886,953	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

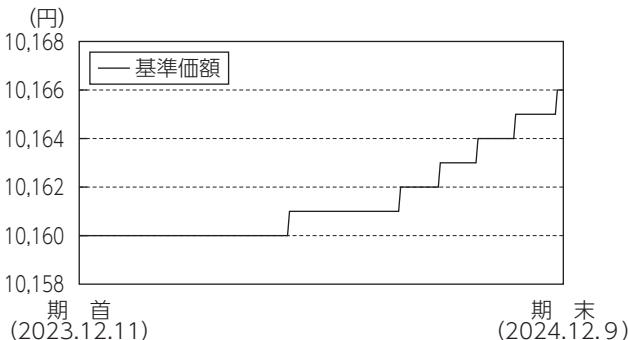
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 比	債 率
	円	%		
(期首)2023年12月11日	10,160	—	—	—
12月末	10,160	0.0	—	—
2024年1月末	10,160	0.0	—	—
2月末	10,160	0.0	—	—
3月末	10,160	0.0	54.3	—
4月末	10,160	0.0	61.4	—
5月末	10,161	0.0	61.1	—
6月末	10,161	0.0	53.7	—
7月末	10,161	0.0	53.8	—
8月末	10,162	0.0	54.0	—
9月末	10,163	0.0	56.8	—
10月末	10,164	0.0	52.1	—
11月末	10,165	0.0	59.1	—
(期末)2024年12月9日	10,166	0.1	59.0	—

(注1) 謙落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指標はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・謙落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 謙落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3ヶ月物）の利回りはおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3ヶ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合 計	－

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

	買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円
国債証券	34,898,602	(21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当 期			
買 付	売 付		
銘柄	金額	銘柄	金額
1258国庫短期証券	千円	11,398,953	千円
2024/12/23			
1219国庫短期証券	10,999,769		
2024/6/24			
1239国庫短期証券	9,999,950		
2024/9/24			
1266国庫短期証券	2,499,930		
2025/2/10			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作成期	当期末					
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率	
国債証券	千円 13,900,000	千円 13,899,790	% 59.0	% —	% —	% 59.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区分	銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	1258国庫短期証券	% —	千円 11,400,000	千円 11,399,837	2024/12/23
	1266国庫短期証券	% —	千円 2,500,000	千円 2,499,953	2025/02/10
合計	2銘柄		千円 13,900,000	千円 13,899,790	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目		
	評価額	比率
公社債	千円 13,899,790	% 57.7
コール・ローン等、その他	千円 10,201,274	% 42.3
投資信託財産総額	千円 24,101,065	% 100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当期末
(A) 資産	24,101,065,702円
コール・ローン等	10,201,274,983
公社債(評価額)	13,899,790,719
(B) 負債	539,914,600
未払解約金	539,914,600
(C) 純資産総額(A-B)	23,561,151,102
元本	23,177,163,591
次期繰越損益金	383,987,511
(D) 受益権総口数	23,177,163,591口
1万口当り基準価額(C/D)	10,166円

*期首における元本額は19,198,713,135円、当成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	9,272,436,966円
ダイワ・グローバル IoT関連株ファンド -AI 新時代- (為替ヘッジあり)	1,316円
ダイワ・グローバル IoT関連株ファンド -AI 新時代- (為替ヘッジなし)	1,316円
ダイワ・F Eグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワ・F Eグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	1,862円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	1,862円
世界水資源関連株式ファンド	984円
ダイワ/“R I C I ™”コモディティ・ファンド	2,074,249円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	1,595円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	1,428円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	1,772円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,270円
世界セレクティブ株式オーファン	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	1,625,040,517円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	6,118,952,239円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	1,922,334,672円
iFreeETF 米国10年国債先物インバース	748,591,588円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,487,675,074円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	1,851円
リターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)	1,805円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型)	1,763円
リターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,957円
リターンズ - ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	3,666円
リターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型)	1,773円
ダイワ米国高利社債ファンド (通貨選択型)	1,606円
ダイワ米国高利社債ファンド (通貨選択型)	1,427円
ダイワ米国高利社債ファンド (通貨選択型)	1,922円
ダイワ米国高利社債ファンド (通貨選択型)	1,097円
ダイワ米国高利社債ファンド (通貨選択型)	1,705円
ダイワ米国高利社債ファンド (通貨選択型)	1,350円
リターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,777円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月9日

項目	当期
(A) 配当等収益	10,741,987円
受取利息	11,228,079
支払利息	△ 486,092
(B) 有価証券売買損益	58
売買益	58
(C) 当期損益金(A + B)	10,742,045
(D) 前期繰越損益金	307,369,188
(E) 解約差損益金	△357,989,162
(F) 追加信託差損益金	423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)	383,987,511
次期繰越損益金(G)	383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。